

令和6年度 第1回 くるめ支え合うプラン推進協議会 議事要旨

開催要領

- 1 日 時 令和6年6月28日（金） 14時00分～15時40分
- 2 会 場 久留米市総合福祉センター 2階大会議室
- 3 出席者 委員18名
江頭委員、川崎委員、喜田委員、縄崎委員、橋本委員、北岡委員、藤野委員、村井委員、尾花委員、森山委員、濱崎委員、宮原委員、藤田委員、矢野委員、牛島委員、刈茅委員、江上委員、佐藤(寿)委員
- 4 欠席者 委員7名
佐藤(美)委員、坂井委員、堤委員、高田委員、津野委員、永野委員、岩崎委員
- 5 傍聴者 なし

次第及び議事要旨

- 1 開会
- 2 報告事項
(1) 令和5年度 第1回 協議会 議事要旨
※資料配布のみ
- 3 協議事項
(1) くるめ支え合うプラン進捗状況について

【主な質疑応答・意見等】

委 員：くるめ支え合うプランは、地域福祉計画、地域福祉活動計画、市再犯防止推進計画のほかに、計画の意味合いを兼ねているものがあるか。

事務局：成年後見制度の利用の促進に関する法律に定められた市町村計画を兼ねている。

委 員：9ページ。フォーマルサービスとインフォーマルな活動の融合、個別支援と地域づくりの循環を目指し、フォーマル側の連携を考える「多機関連携部会」、インフォーマルな活動を考える「支え合い推進部会」の2つの部会を運営する体制だったが、現状はどうなっているか。

事務局：コロナ禍で稼働していない状況が続いた。多機関連携部会は、令和3年度から始まった重層的支援体制整備事業（以下「重層事業」という。）

の枠組みの検討等で数回開催した。支え合い推進部会は開催できていないが、現在、体制の再構築に向け、地域包括支援センターや支え合い推進会議との接合に向け協議中。

委員：次期計画に向けて、体制も合わせて考えていくとよいと思う。

委員：11 ページ。重層事業の全体像に女性の問題が記載されていない。女性の問題も取り扱ってほしい。

事務局：重層事業でケースを取り扱うケースに基準はない。これまで「女性ならではの問題」として取り扱った実績はないが、対象である。女性に関する新たな法律も制定されており、読み込みながら次期計画に反映したい。

委員：社会福祉、地域福祉は、生活様式、環境の変化で出てきた様々な困りごとを受け止めるために制度化された。課題への制度化は良いことだが、細分化しすぎて縦割りになり、狭間の課題に陥る人が出てきた。これを解決する手法として令和3年度から重層事業が開始。個別支援の専門機関が枠を超えて集まり、インフォーマルな団体も一緒に課題を話し合う、伴走支援の体制ができてきた。参加機関や団体からの、重層事業の成果に関する意見があれば、共有してほしい。

事務局：考える会では、重層事業自体についての意見交換やアンケートも実施。成果として、「多様な方が会議に入り、色んな気づき、視点を得られた」「新しい団体の動きを知ることができた」「顔なじみの関係ができ、相談しやすくなった」というご意見があった。一方、課題として「地域資源の場所の偏り」「連携する時の負担の偏り」などのご意見もいただいた。事業開始4年目で、重層事業の内容が徐々に伝わり始め、こんなことができるのでは、という期待をいただいている実感がある。

委員：考える会の方向性について確認したい。ネットワークの拡がりやインフォーマルな資源の把握は効果として理解している。その上で、考える会の役割は課題を共有する場なのか、解決策や地域資源を作り上げるところまでするのか。もしそうでない場合、課題に対して、どのようなステップ、仕組みの中で制度化や資源の開発等されていくのかを教えてください。

事務局：課題共有から、一歩進んで具体的な施策化まで踏み込めていないのが現状。課題を受け止めるのは、公的な制度だけではなく、多様な主体が関わる中で、インフォーマル側でも動きが出てくるという効果もあると認識。そういったものを重ねても公的な制度でないと受け止められない場合にどうしていくのか、公的部門で考える必要がある。考え

る会自体が、具体的な施策化の内容まで考える場とは考えていない。

委員：市は校区でのまちづくりを進めてきたが、小学校の統廃合が進む中、現在の校区でのまちづくりが継続していくのか、今後の方向性をお尋ねしたい。小学校単位で取り組む行事もあり、コミセンの単位、支え合い推進会議が現状を継続する場合、ずれが生じる。

事務局：基本的にこれまでの校区がベースになる。しかし、小学校が合併した後の校区、地域コミュニティをどうするかは、それぞれの実情によって判断。教育委員会だけでなく、協働推進部も入って地元と協議し、地域の意向をお伺いしながら進めていくことになる。ただし、将来的な人口減少社会に対応した校区づくりを見据えることは必要。

委員：22 ページ。校区福祉活動計画づくりの具体的な動きについて、「中学生へのヒアリングを実施し、若年層の意見を反映」とあるが、詳細を教えてください。

事務局：大善寺校区で、支え合い推進会議の一つのテーマとして「防災」を設定。地域の中で、まず子どもたちが地域福祉や地域の活動について知っているかも含めて探ろうと、中学校へのアンケートを実施。支え合い推進会議の場に定期的に中学生が参加するようになった。

委員：中学生に地域の取組みを知ってもらう動きが参考になる。防災に関連して、男女平等の視点から、防災とジェンダー平等がどう関連するのかという内容で講演会を開催予定。ジェンダー平等の視点から、見えにくかった課題、気づかなかった困りごとを発見する機会になるのではないかと、重層事業につなぐことができるのではないかと感じた。

委員：20 ページ。支え合い推進会議の「活動・テーマ」として校区ごとの防災の取組みについて記載があるが、防災は、市全体の課題が大きいと思う。それをどうカバーしていくか。福祉避難所の充実などは校区ごとでは検討が深まらない。ボランティア、災害物資の配置場所などの課題について解決を考えるのは校区ごとでは無理と思うが、どうか。

事務局：この協議会は地域福祉の計画に対するものであり、防災の分野をどこまで議論できるかというところはあるが、備蓄品の問題など、全庁的に災害の都度見えてきた課題については、改善の方向で検討中。福祉避難所は、各地域になるべく均等になるよう配置。福祉避難所は二次的避難所で、災害が長期化した場合に、一次避難所に対応できない人の受け皿となる。開設事例がなく、実効性等、検証する必要性を感じている。防災全体の話はこの場で話ができるものではないが、市全体としての協議を進めていくということでご理解いただきたい。

委員：次期計画策定過程の中で、皆様から色んなヒントをいただきたい。社会福祉協議会からの報告の中で、複合的な課題を抱えた方の事例で、地域側の変容が生まれた、ということがあった。当事者の周りにインフォーマルな活動者を加え、地域の変化を促すのは、社協として受託事業の中で自覚的に行っている。また、元々の社協の事業としても地域へ働きかけを行っている。地域の人、自治会の役員から、エリアの課題を面的に把握することは、ご理解いただきやすい。しかし、地域共生社会を目指すにあたっては、個別支援のセンシティブな課題がある人も地域で受け止めていくことが必要。たとえば精神障害における「にも包括」（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム）や出所者を受け入れる地域づくりなど。現在、個別支援から当事者の周りに少しずつ変容を促していくことと、地域に直接エリア的な課題を伺って活動を促していくことの間に乖離がある。次期計画に向けては、その乖離が埋まるためのヒントをいただきたい。

委員：生活自立支援センターでは、困窮者というのは、単にお金がない人ではなく、「困りごとを抱えている人」と捉えている。出口として、人は地域の中で生きるしかない。支援する際、地域の担い手になってほしいと願っているが、どうしても近々の対応を迫られるケースが多く、地域に戻っていく出口の支援は苦手。地域では、高齢化が進んでおり、次世代の担い手をどう育成していくか、その計画が必要。今後、半数以上が単身世帯になっていく。その人たちが地域、コミュニティの中に入ってこない。個人的な生活を振り返っても、住んでいる地域には寝に帰るだけだったり、地域活動をするにもつながり先がわからなかったりする。ここに課題があり、きちんとした議論が必要だと思う。

会長：次世代の担い手を地域の中で見つけて育てていくことが大事。単身世帯については、いま高齢者支援で難しい課題になっている。少子高齢化という社会の変化が更に進んだ時にどうしていくか、次期計画に盛り込むべきポイントであると思う。

委員：特効薬はなく、いかに『我が事』の意識を持てるような関係性を、どの世代でも作っていくかが大事。地域を超えた住民組織、地域をよくしたいという思いを持つ方は結構いる。今の時代に合った互助、たとえばLINEを活用した情報交換や意見交換などで、『我が事』意識をいかに高めるか。そのためには、個人ではなく、いかに何らかの組織に帰属して、「一緒にやっ払いこう」ということが大事。何らかの組織に属してもらう、居場所を作る、という取組みが大事になると思う。

会 長：支援者を孤立させないことも大事。一緒に『我が事』としてやることが大事だということだと思う。

委 員：近頃、公立保育園を減らし民営化するという内容でのパブコメがあった。付属の子育て支援センターも民間化されると思うが、その民間の担い手の見通しがないまま、市の計画で民営化の方向性を出している。民間の育て方、見分け方をどうやるかも大切だと思う。

(2) 重層的支援体制整備事業で目指す方向性

【主な質疑応答・意見等】 なし

(3) 次期計画策定の方向性について

【主な質疑応答・意見等】 なし

4 その他

事務局：次回の協議会は、10月頃を予定。

5 閉会